



画：石川 怜奈
(3年:成東東中出身)

1 | 新年のご挨拶

新年あけましてあめでとうございます！昨年はどんな1年だったでしょうか？コロナ禍で生活様式が一変しました。この大きな変化の中で、誰もが苦を強いられてきたと思います。しかし、変化によって今まで見えなかったモノが見えるようになったりします。家族との団らん、友人とのランチ、些細な会話など、今まで当たり前だと感じていた日常が貴重だったと気付く良いきっかけになったのではないのでしょうか？幸せや大切なものは、実は目の前にあつたりします。そんな小さな幸せを見つけようとするだけで、人生の豊かさが変わると思います。この機会を利用して、たくさんの幸せを見つめられるように意識してみましょ。

こんな時代だからこそ、本校もコミュニティ・スクールとしての役割を全うし、学校と地域の活性化に努めていきます。昨年は、「sweets factory aNt」さんの収穫祭や、「アクアラインマラソン除幕式」にも参加させていただきました。今後も生徒が活躍できる場を広げたいと思います。本年もよろしくお願ひ致します。

2 | 3年生修学旅行 12.19-22

1日目



学校に朝早くから集合し、バスで東京駅へ。まずは新幹線で神戸に向かいました。



神戸では「異人館」と「人と防災未来センター」を見学しました。関西淡路大震災などを映像でリアルに感じることができ、貴重な体験になりました。

2日目



2日目は丸1日USJで遊びました。スパイダーマンの衣装など、USJにしか売っていないお土産を購入できました。ここでお金を使い果たした生徒も！?お金の管理も勉強です。気を付けましょ。

3日目



3日目は大阪城、なんばグランド花月、なんば周辺を観光しました。前日まで東京でM-1グランプリ決勝戦を戦っていたオズワルドやユニバースなどを生で見ることができました！美味しい物をたくさん食べられて満足です。

4日目



4日目は京都の嵐山を散策しました。竹林で心を清めたり、大堰川周辺でゆっくりと時間を過ごすなど、各自最後の自由時間を楽しみました。4日間の疲れが溜まり、帰りの新幹線はほとんどの生徒が夢の中でした。コロナ禍で感染対策を徹底した中での修学旅行でしたが、大成功だったように思います。4日間お疲れ様でした。

3 | 箏曲部校内発表 12. 15



箏曲部は現在1年生1名、2年生4名、3年生1名で活動しています。例年東金のサンピアでお引き初めをしていきましたが、中止となったため、校内発表会を行いました。3年生はこの日の活動で引退となります。観客前総勢20名以上の前で「飛躍」、「千本桜」の2曲を演奏しました。コロナの影響で練習時間は限られていましたが、一杯演奏し、観客の心をつかみました。一生懸命やっている姿はとても格好良かったです。次回の発表会も楽しみにしています。

4 | アクアラインマラソン除幕式 12. 22



本校の生徒、職員が作成したピブスを着用するガウラーとキサポン。除幕のお手伝いをしている様子。



千葉県知事の熊谷氏と千葉県教育委員会教育長の富塚氏と本校生徒の集合写真。

アクアラインマラソン除幕式に本校生徒も参加させていただきました。生活デザインコース（服装系）の2,3年生がチーバ君、ガウラー（袖ヶ浦市のマスコットキャラクター）、キサポン（木更津市のマスコットキャラクター）のピブスを作成しました。型紙から、採寸、裁断、裁縫まで授業の中で行い、とても貴重な経験になったと思います。

高校生のうちに授業でやったことや、部活動で頑張ったことを発表するのは、とても大切です。学校生活を一生懸命送る中で、自分の進路を見つけていってください。生活デザインコースの2,3年生、お疲れ様でした。

5 | 終業式 12. 23



今回の終業式では、長期休み後に行われる基礎力診断テストで得点が高い伸びた生徒に学校活性化賞を授与しました。

受賞者の皆さん、おめでとうございます。努力していれば必ず形に残ります。評価してくれる人も必ずいます。しかし、自分の努力が形に残ることも、努力して他人が評価してくれることも、努力していると自分自身の人生が豊かになっていくことも、努力した人になんか実感することはできません。私達教員は、皆さんが努力しやすい環境を作ることはできますが、努力するのは皆さん自身です。新年心を改め、自分が進むべき道をを見つけるためにまずは努力することから始めましょう！

年の節目は自分が変わることができる良いきっかけになります。これを機に新たな目標を立て、3学期も頑張りましょう！

6 | 地域のお店紹介Part6-地域応援団-



1932年に創業した菅原工芸硝子株式会社のガラス製品は、1つ1つ職人さんの手作りです。その手作りのガラスと手作りの料理で、素敵な時間を提供してくれるカフェが九十九里町にあります。山武郡九十九里町藤下797にて営業されている、「Sghr cafe」さんです。「Sghr cafe」では日々の暮らしの中で、日常的に使えるガラスを体感することができます。ガラスは光の角度で全く違う表情になります。ガラスの器でしか見られないカプチーノの泡の層や、光の当たり方によって変わるガラスの表情など、お客様から感動の声をいただくことも多いそうです。できるだけ地域の素材を生かし、コーヒー豆にもこだわっています。開放感のあるテラス席もとても魅力的でした。色々な人の想いの詰まった、「Sghr cafe」でしか感じることでできない心温まる雰囲気と特別な時間を是非体験してみてください。